



奈良県医師会透析部会

第40回 奈良透析学術総会が

2016年2月7日(日)に

ホテル日航奈良にて開催されます。

当院からは臨床工学科 副主任 二神 徳明 技士と

臨床工学科 友田 直人 技士が

学術発表致しますので、ご紹介します。



領域（臨床研究）

on-lineHDF（OHDF）変更後の各パラメーターによる比較検討

医療法人 康仁会 西の京病院 臨床工学科¹⁾ 西大寺クリニック透析センター²⁾

プラザ第 2 透析センター³⁾

○ 二神徳明（T）¹⁾ 大西順也¹⁾ 明石清忠¹⁾ 野口幸¹⁾ 米澤麻里²⁾ 渡邊美智子³⁾

青木昭美²⁾ 赤澤愛³⁾ 吉岡伸夫²⁾ 高比康臣³⁾

【目的】 OHDF 変更後の効果を各パラメーターで検討する。

【方法】 対象は西大寺クリニック透析センターとプラザ第 2 透析センター通院中の維持透析患者 25 名。検討項目は愛 Pod シートを用いて関節痛、掻痒感、倦怠感、イライラ感、下肢のつり、不眠と ESA 製剤量、ALB、P、n-PCR、GNRI、心機能検査（心エコー検査）で、HD5 ヶ月間と OHDF 導入後 5 ヶ月間の値を比較検討した。

【結果】 愛 Pod シートで、掻痒感 HD 1.8 ± 0.2 vs OHDF 1.15 ± 0.2 ($p < 0.05$)、倦怠感 HD 2.14 ± 0.2 vs OHDF 1.47 ± 0.2 ($p < 0.01$)、イライラ感 HD 2.11 ± 0.2 vs OHDF 1.29 ± 0.3 ($p < 0.05$)、下肢のつり HD 1.94 ± 0.3 vs OHDF 1.21 ± 0.2 ($p < 0.05$)、不眠 HD 2.68 ± 0.2 vs OHDF 1.52 ± 0.3 ($p < 0.01$) で改善を認めた。ESA 製剤量、ALB、P、n-PCR、GNRI、心機能検査では変化を認めなかった。

【結語】 愛 Pod シートによる評価ではほぼ全ての項目で改善を認めたことから OHDF は透析患者 QOL の改善に効果があると示唆された。しかし、有意差がなかった諸検査については今後の課題とし検討を重ねたい。

(Key Words) on-lineHDF HD 愛 Pod シート

(代表連絡者) 二神 徳明

(所属住所) 奈良県奈良市六条町 1 0 2 の 1

(電話) 0 7 4 2 - 3 5 - 7 6 8 0

(ファックス) 0 7 4 2 - 3 5 - 7 6 8 4

(E-mail) m_noguchi@nishinokyo.or.jp

第40回奈良透析学術総会・一般演題抄録

領域 (症例)

EVT後、持続する下肢痛に対しLDL-アフエレーシス (LDL-A) を導入することで良好な経過を辿った透析患者の1例

医療法人 康仁会 西の京病院 臨床工学科¹⁾ 循環器内科²⁾ 同透析センター³⁾

○友田直人(T)¹⁾ 駒田暁¹⁾ 櫃割まさ代¹⁾ 麻野秀人¹⁾ 野口幸¹⁾

奥村啓之²⁾ 青木昭美³⁾ 吉岡伸夫³⁾ 高比康臣³⁾

【症例】70歳代男性。当院維持透析患者で2015年5月に右下肢痛が出現した。下肢の痛みはVisual Analog Scale (VAS) 8であった。諸検査にてPADと診断し下肢動脈造影を行い、右総大腿動脈から浅大腿動脈に有意狭窄を認めEVTを施行した。病変は高度石灰化により完全血行再建まで至らなかったが、血流の改善を得たので終了とした。しかしながら、EVT後もVAS8と下肢痛が継続したのでLDL-Aを導入した。導入後5回目でVASは0。SPPは導入前、右足背/足底 48/63mmHgであったが、10回終了時には65/71mmHgと改善した。さらに歩行時の跛行も軽減した。

【結語】LDL-AはEVTで有効な効果が得られないPAD病変においても補完療法として十分有効であると考えられる。

(Key Word) LDL-アフエレーシス PAD EVT

(代表連絡先) 友田 直人(トモダ ナオト)

(所属住所) 奈良県奈良市六条町102の1

(電話) 0742-35-1121

(FAX) 0742-35-2106

(E-mail) m_noguchi@nishinokyo.or.jp